



## おおらかに気負わず

### 日々の暮らしを楽しむ家

クオリティを重視した  
妥協のない大人の住まい

結婚以来、10年以上にわたり  
マンション暮らしだったSさん  
夫妻。初めての住まいづくりを  
経て、昨年、待望の新居が完成  
しました。目指したのはデザイン  
や素材、性能など、すべてに  
おいて妥協のないフルオーダー<sup>1</sup>  
の家。自分たちの好きなものに  
囲まれた、こだわりの空間です。  
そんな唯一無二ともいえるマイ  
ホームでの新生活。その心地良  
さはいうまでもありません。充  
足感に包まれた日々に「以前の  
暮らしには戻れません」と笑い  
ます。

お二人の成功の秘訣は、ビル  
ダー選びにありました。規格住  
宅ではなく自由な設計で、細部  
にわたるまで納得しながら進め  
ていきたいと考えたご夫妻。地  
元で実績のある数社にコンタク  
トし、最終的に決めたのがトモ  
ノ建築設計事務所でした。理由  
はきめ細やかなヒアリングから  
始まり、施主の思いが反映され

た確かな提案力やスタッフの人  
柄、柔軟性など。あらゆる面で  
抜きん出でいたため、逆に迷う  
ことなく決断できたそう。「もち  
ろん見学会にも足を運びました  
よ」と奥様。そこで目にしたのは、  
おりがそのまま暮らしやすさに直  
結したバランスの良い空間に「大  
きな魅力を感じました」とご主人。  
さらに性能面でも定評がある  
同社の家ですが、そのクオリテ  
ィの高さに驚いたと振り返りま  
す。「訪れたのがちょうど真冬で、  
床下エアコン1つでボカボカ暖  
かくて感動しました」と奥様。  
同社の暮らしへの配慮に「なる  
ほど」と納得の連続だったとか。  
「さすが、住まいの優等生でした」と口を揃えます。

A\_三角屋根と煙突がS邸のシンボル。窓の  
木枠も素材感が際立ち、さりげなくその存在  
をアピール。朝、野鳥のさえずりを聞きながら  
テラスで飲むコーヒーは最高の幸せ。



### どこにいても癒され、心にゆとりをもたらす最高の空間

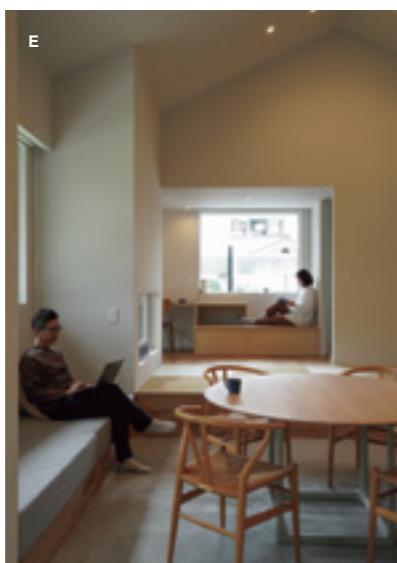
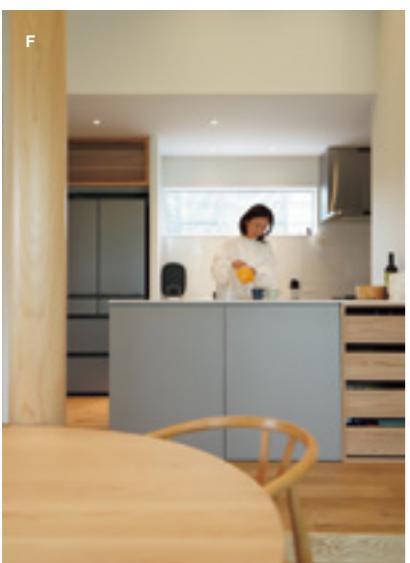
S邸には安らぎを誇るBGMが流れています。コーヒーを飲んだり本を読んだり、時には庭を眺めながらぼんやりしたり。ここはただ居るだけで十分幸せとご夫妻は笑います。

夫婦二人暮らし。広い住まいは必要ありません。「それよりもやつて過ごすか、居場所づくりを重視しました」

リビングは、コンパクトながらも高さのある勾配天井が広がりをもたらして、開放感に包まれています。また床の高低差で空間がゾーニングされ、メリハリのある立体的な室内となりました。そこへ、ゆったり奥行きのある造作ソファやテーブル、畳の間をしつらえて、思いのままに楽しむことができるくつろぎのスペースとしました。

マンションでは落ち着ける場所なく、休日には外出ばかりしていたというご夫妻。今までまことにきちんと向き合つてくださったトモノさんに感謝です」どこにいても癒されるという最高の贅沢と話します。「私たちの思いにきちゃんと向き合つてスにあるのは、やはり施主のライフスタイルです。「たくさん話をしましたから。いい意味でフ

ラットな関係が築けたこと、思つたことをすべてお伝えできた点もこの満足感につながったのでしょうか」とご主人は話します。普段は東京勤務で忙な日々にありながら、心身ともにリラックスできる最高の我が家。もっぱらスローライフを満喫中です。



**B**\_リビングを中心床材にはフローリングやモルタル、畳など様々な素材を使用。それぞれの感触が素足に気持ちいいのだとか。 **C**\_空間そのものを楽しむため、リビングにテレビを置くのはやめたというご夫妻。音楽やラジオを流し心地良さもアップした。 **D**\_窓には断熱性能に優れたトリプルガラスを採用。奥様の要望で木枠サッシに。「樹脂サッシが標準なのですが、手を尽くして探してくださったんです。こうした細やかなサポートもさすがですね」 **E**\_窓際のソファをはじめ、家具はほぼ造作家具を採用。新生活にあたって購入したのは、リビングの丸テーブルのみ。 **F**\_天板に人工大理石をあしらったキッチンの造作作業台。ピザやパンづくりがしたいと広いスペースをリクエスト。中には食器も収納できる。

**DATA**

敷地面積 ..... 917.06m<sup>2</sup> (276.86坪)  
延床面積 ..... 95.64m<sup>2</sup> (28.87坪)  
1F面積 ..... 95.64m<sup>2</sup> (28.87坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ペタ基礎 構造材／柱：集成材、梁：ペイマツ・レッドウッド集成材、土台：ヒノキ  
断熱材／天井：発泡クレタンフォーム200mm、壁：硬質ウレタンフォーム85mm、基礎：(立ち上がり)ポリスチレンフォーム100mm・(底盤)ポリスチレンフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：ペルアート塗装 主な内装仕上げ／天井：漆喰・クロス、壁：漆喰・クロス・タイル、床：フローリング・畳・モルタル・タイル 開口部／樹脂サッシ・トリプルガラス・木製サッシ キッチン／クリナップ CENTRO キッチン熱源／IHクッキングヒーター バスルーム／TOTO サザナ 暖房の種類／高効率エアコン・薪ストーブ(スキャンサー) C値／0.44 UA値／0.40

**Comment**

Owner: Sさんご家族

Builder: 設計／渡邊千佳さん

**Q1\_ 家づくりで一番大切にしたことは？**

A 効率や機能性よりも家の居心地を第一に考えました。無理せず素直に心や体がゆったりできる空間づくりです。

**Q2\_ こうしておいてよかった、と思ったことは？**

A 思った以上に床の段差がよかったです。フェイクを使わざできるだけ本物の素材を選んだことも正解でした。

**Q3\_ このビルダーさんに頼んでよかったことは？**

A やりたかったことを叶えてくださいました。連絡もレスポンスが早く、二人三脚で楽しく家づくりが進められました。

**Q1\_ この家のコンセプト、ポイントは？**

A 数々の居場所がある住まいです。施主様の使い勝手を考えて一緒につくり上げた造作家具もポイントです。

**Q2\_ この家の見どころを3つに絞るなら。**

A 開放感と落ち着きのあるリビングダイニング、段差ごとに居場所があり各々の時間を過ごせる空間、素材や色合いへのこだわり。

**Q3\_ 家づくりで一番大切にしていることは？**

A 施主様の声に耳を傾け、思いを最優先すること。常にアンテナを張り、より良い提案ができるよう心がけています。



**G**\_寝室にも段差を設けた。ご主人いわく、「ホテルや旅館のような空間を目指した」そう。吉村障子の美しさも際立つ。**H**\_現役世代の夫妻にとってワークスペースは必須。机や本棚などどちらも造作家具で統一され使い勝手は抜群。**I**\_部屋は区切らず、空間につながりをもたせたいとすべて引き戸に。普段から全開でオープンな状態にしている。**J**\_寝室を出てすぐの洗面室。造作の洗面台に、カラーが気に入って海外から取り寄せたという洗面ボウルが2つ並ぶ。**K**\_ランドリールームはタイル貼り。収納はもちろん作業台としても便利な幅の広い造作カウンターを設置。**L**\_外観とマッチしたシンプルなカーポート。黒いスレンダーな宅配ボックスはご主人がセレクト。

